



平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月12日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東  
 コード番号 5018 URL <http://www.moresco.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤田 民生  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役執行役員管理本部長 (氏名) 竹内 隆 (TEL) 078-303-9010  
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日 配当支払開始予定日 平成24年11月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績（平成24年3月1日～平成24年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年 2月期第2四半期	9,994	18.2	480	12.0	551	18.7	316	27.0
24年 2月期第2四半期	8,456	4.3	428	△37.0	464	△41.0	249	△49.0

(注) 包括利益 25年 2月期第2四半期 331百万円 (33.9%) 24年 2月期第2四半期 248百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年 2月期第2四半期	37.09	—
24年 2月期第2四半期	29.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年 2月期第2四半期	15,620	7,958	46.3
24年 2月期	15,139	7,600	47.1

(参考) 自己資本 25年 2月期第2四半期 7,233百万円 24年 2月期 7,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年 2月期	—	—	—	25.00	25.00
25年 2月期	—	12.50	—	—	—
25年 2月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,740	16.5	1,400	17.3	1,500	15.1	870	21.0	102.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年2月期2Q	8,518,000株	24年2月期	8,518,000株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	502株	24年2月期	482株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年2月期2Q	8,517,505株	24年2月期2Q	8,517,600株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は平成24年10月15日に機関投資家・アナリスト向け説明会 (東京) を開催する予定です。この説明会で配布する説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	10
(1) 製品およびサービスに関する情報 .....	10
(2) 海外売上高 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災による復興関連等の国内需要が堅調に推移したことや、エコカー補助金制度等の政府施策により緩やかに回復しましたが、一方で欧州の債務問題を背景とする世界経済の停滞や中国の成長の減速、長期化する円高の影響等、先行き不透明感が強まっております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、主な需要先である自動車産業の工場稼働率が上昇し、特殊潤滑油製品の売上が増加したことに加え、自動車電装部品のベアリング軸受用グリース基油やハードディスク表面潤滑剤が好調であったことにより、前年同期を上回る売上高と利益を確保することができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,994百万円（前年同期比18.2%増）となり、経常利益は551百万円（前年同期比18.7%増）、四半期純利益は316百万円（前年同期比27.0%増）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

#### ①日本

##### (特殊潤滑油)

自動車産業等を中心に工場稼働率が回復し、難燃性作動液、ダイカスト用油剤、切削油剤の売上高が増加しました。さらに、エチレンケミカル(株)の連結子会社化により、売上高は前年同期を大きく上回りました。

##### (合成潤滑油)

自動車用電装部品のベアリング軸受用グリースの基油として世界的にシェアが高い高温用合成潤滑油は、国内外の自動車生産の順調な伸びに支えられ、堅調に推移しました。また、ハードディスク表面潤滑剤は、高性能新製品の採用が進み、過去最高の売上高を記録しました。

##### (素材)

流動パラフィン化粧用品、トイレタリー等の用途が堅調に推移し、前年同期の売上高を上回りました。一方、金属加工油の添加剤として使用される石油スルホネートは海外への輸出が円高の影響を受け減少しました。

##### (ホットメルト接着剤)

前年度、震災の影響で大きく売上高を伸ばした大人用紙おむつなどの衛生材向けは、引き続き高水準を維持しております。また、新製品の自動車用反応型ホットメルト接着剤の需要が好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は8,963百万円（前年同期比18.9%増）となりました。セグメント利益は、420百万円（前年同期比29.9%増）となりました。

#### ②中国

中国では、自動車生産台数が前年同期を上回りましたが、ローカル企業の伸び悩みによる影響もあり、ダイカスト用油剤が前年同期の売上高をやや下回りました。一方で難燃性作動液や自動車内装用ホットメルト接着剤等の売上高は堅調に推移しました。

当セグメントの売上高は712百万円（前年同期比1.1%減）となり、原材料価格の上昇等により、セグメント利益は、49百万円（前年同期比36.0%減）となりました。

#### ③東南アジア

タイでは、洪水の影響が収まり、自動車関連産業の回復により、ダイカスト用油剤、切削油剤、難燃性作動液の売上高が回復しております。また子会社を設立したインドネシアの特殊潤滑油の生産工場も順調に立ち上がりました。

当セグメントの売上高は644百万円（前年同期比4.1%増）となり、原材料価格の上昇と円高の影響、インドネシア子会社の経費増等により、セグメント利益は、6百万円（前年同期比75.2%減）となりました。

#### ④北米

北米では、自動車生産の回復により、日系自動車関連顧客の需要が好調に推移するとともに、米系顧客でのダイカスト用油剤等の新規ユーザーの獲得等により売上高が増加しました。また高温環境下で使用される合成潤滑油の需要も着実に拡大しました。

当セグメントの売上高は85百万円（前年同期比17.1%増）となり、セグメント損失は、人件費の増加により8百万円（前年同期は8百万円の損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて480百万円増加し、15,620百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が283百万円、たな卸資産が232百万円、有形固定資産が216百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて123百万円増加し、7,662百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が139百万円減少した一方で短期借入金および長期借入金が325百万円増加したことによります。

純資産は、インドネシア子会社2社の合弁先からの出資が完了したことによる少数株主持分の増加等により、前連結会計年度末に比べて357百万円増加し、7,958百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べて188百万円増加し、1,023百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは124百万円の支出（前年同期は142百万円の支出）となりました。これは、売上債権の増加、たな卸資産の増加および法人税等の支払額等によるキャッシュ・アウト・フローが税金等調整前四半期純利益、減価償却費の計上等によるキャッシュ・イン・フローを上回ったことによります。

投資活動によるキャッシュ・フローは500百万円の支出（前年同期は219百万円の支出）となりました。これは、定期預金の増加および有形固定資産の取得等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは342百万円の収入（前年同期は307百万円の収入）となりました。これは、配当金の支払および長期借入金の返済を行った一方で、短期借入金の増加および少数株主からの払込による収入があったこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成24年9月29日に発生した日本触媒姫路製造所の事故による高吸水性樹脂の生産停止によって、当社ホットメルト接着剤の顧客である紙おむつ製造メーカーへの影響が懸念されますが、現時点において平成24年4月12日に公表しました連結業績予想を変更していません。

今後の業績への影響を見極めた上で、修正が必要と判断される場合には、お知らせいたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## (4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,395,485	1,234,692
受取手形及び売掛金	4,516,311	4,799,336
商品及び製品	1,677,552	1,703,980
原材料及び貯蔵品	924,364	1,129,657
その他	325,853	339,195
貸倒引当金	△15,585	△19,329
流動資産合計	8,823,980	9,187,531
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,028,912	1,190,789
機械装置及び運搬具（純額）	815,440	932,275
土地	2,382,195	2,379,482
その他（純額）	454,238	394,499
有形固定資産合計	4,680,784	4,897,045
無形固定資産		
のれん	481,338	461,971
その他	64,689	101,872
無形固定資産合計	546,027	563,843
投資その他の資産	1,088,527	971,324
固定資産合計	6,315,338	6,432,212
資産合計	15,139,318	15,619,743

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,838,823	3,872,346
短期借入金	990,420	1,420,420
未払法人税等	244,099	105,176
賞与引当金	345,327	357,494
その他	712,402	714,888
流動負債合計	6,131,071	6,470,324
固定負債		
長期借入金	598,390	493,180
長期未払金	127,694	64,280
退職給付引当金	585,438	508,407
その他	96,309	125,700
固定負債合計	1,407,831	1,191,568
負債合計	7,538,902	7,661,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,525,928	1,525,928
資本剰余金	1,386,018	1,386,018
利益剰余金	4,363,956	4,466,946
自己株式	△310	△328
株主資本合計	7,275,593	7,378,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,844	1,025
為替換算調整勘定	△159,485	△146,276
その他の包括利益累計額合計	△147,642	△145,251
少数株主持分	472,466	724,537
純資産合計	7,600,417	7,957,851
負債純資産合計	15,139,318	15,619,743

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	8,456,268	9,994,378
売上原価	5,942,375	7,176,737
売上総利益	2,513,893	2,817,642
販売費及び一般管理費	2,085,456	2,337,865
営業利益	428,437	479,776
営業外収益		
受取利息	1,753	3,624
受取配当金	8,945	8,918
持分法による投資利益	15,544	49,533
その他	25,885	38,565
営業外収益合計	52,127	100,640
営業外費用		
支払利息	7,206	12,709
為替差損	6,570	11,364
その他	2,485	5,328
営業外費用合計	16,262	29,401
経常利益	464,302	551,015
特別利益		
貸倒引当金戻入額	6,381	—
持分変動利益	—	7,885
特別利益合計	6,381	7,885
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11,606	—
投資有価証券評価損	—	3,934
特別損失合計	11,606	3,934
税金等調整前四半期純利益	459,077	554,967
法人税、住民税及び事業税	81,657	111,572
法人税等調整額	111,692	106,345
法人税等合計	193,349	217,917
少数株主損益調整前四半期純利益	265,728	337,050
少数株主利益	16,959	21,122
四半期純利益	248,769	315,928

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	265,728	337,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,918	△11,773
為替換算調整勘定	△9,341	2,316
持分法適用会社に対する持分相当額	3,080	3,794
その他の包括利益合計	△18,180	△5,663
四半期包括利益	247,548	331,387
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	233,669	316,996
少数株主に係る四半期包括利益	13,880	14,391

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	459,077	554,967
減価償却費	279,277	298,880
持分法による投資損益(△は益)	△15,544	△49,533
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△68,012	△77,239
賞与引当金の増減額(△は減少)	31,031	12,102
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,381	△13,339
受取利息及び受取配当金	△10,698	△12,543
支払利息	7,206	12,709
投資有価証券評価損益(△は益)	—	3,934
固定資産除却損	808	616
売上債権の増減額(△は増加)	△185,723	△281,162
たな卸資産の増減額(△は増加)	△233,278	△230,005
仕入債務の増減額(△は減少)	△31,512	50,406
長期未払金の増減額(△は減少)	△91,666	△63,414
その他	△82,524	△88,927
小計	52,061	117,454
利息及び配当金の受取額	26,686	20,781
利息の支払額	△6,109	△12,240
法人税等の支払額	△214,941	△249,864
法人税等の還付額	334	227
営業活動によるキャッシュ・フロー	△141,969	△123,642
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△50,000	△113,760
有形固定資産の取得による支出	△164,568	△390,970
無形固定資産の取得による支出	△638	△8,920
貸付金の純増減額(△は増加)	△4,864	△514
投資有価証券の取得による支出	—	△793
その他	1,340	15,476
投資活動によるキャッシュ・フロー	△218,730	△499,481
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	610,000	430,000
長期借入金の返済による支出	△79,980	△105,210
配当金の支払額	△211,832	△212,961
少数株主への配当金の支払額	△6,761	△8,916
少数株主からの払込みによる収入	—	255,805
その他	△3,978	△16,377
財務活動によるキャッシュ・フロー	307,449	342,341
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,931	7,849
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△55,181	△272,933
現金及び現金同等物の期首残高	889,627	1,295,485
現金及び現金同等物の四半期末残高	834,447	1,022,552

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,214,331	655,675	513,870	72,392	8,456,268	—	8,456,268
セグメント間の内部 売上高又は振替高	323,789	64,160	105,004	29	492,982	△492,982	—
計	7,538,119	719,835	618,875	72,421	8,949,250	△492,982	8,456,268
セグメント利益 又は損失(△)	323,569	75,931	25,889	△8,477	416,911	11,525	428,437

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額11,525千円には、セグメント間取引消去13,459千円、棚卸資産の調整額△1,933千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,560,355	710,493	640,045	83,485	9,994,378	—	9,994,378
セグメント間の内部 売上高又は振替高	402,624	1,724	4,253	1,294	409,895	△409,895	—
計	8,962,979	712,217	644,299	84,779	10,404,274	△409,895	9,994,378
セグメント利益 又は損失(△)	420,283	48,589	6,411	△7,549	467,733	12,043	479,776

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額12,043千円には、セグメント間取引消去21,672千円、棚卸資産の調整額△9,835千円および貸倒引当金の調整額206千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 製品およびサービスに関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

外部顧客への売上高	金額(千円)	前年同四半期比(%)
化学品事業	9,965,502	118.3
特殊潤滑油	4,459,985	137.5
合成潤滑油	889,053	136.4
素材	1,747,183	103.3
ホットメルト接着剤	2,265,539	103.5
その他	603,743	93.1
賃貸ビル事業	28,876	93.1
合計	9,994,378	118.2

## (2) 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高(千円)	1,772,819	133,327	3,821	1,909,967
II. 連結売上高(千円)				9,994,378
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	17.7	1.3	0.1	19.1

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、タイ、インドネシア、シンガポール、台湾

北米……………米国

その他……………ベルギー

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。